



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月23日

上場取引所 東

上場会社名 ブルドックソース株式会社

コード番号 2804 URL <http://www.bulldog.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 章子

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長

(氏名) 佐藤 貢一

TEL 03-3668-6811

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	12,509	0.1	702	△6.6	890	△2.6	563	5.5
26年3月期第3四半期	12,495	1.0	752	43.9	913	49.7	533	97.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,214百万円 (10.9%) 26年3月期第3四半期 1,095百万円 (314.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	8.24	—
26年3月期第3四半期	7.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	23,171	17,148	74.0	250.95
26年3月期	21,738	16,158	74.3	236.46

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 17,148百万円 26年3月期 16,158百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	1.50	—	2.00	3.50
27年3月期	—	1.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,600	0.1	800	△9.8	1,000	△5.1	600	0.0	8.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
（注）詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報（注記事項）に関する事項」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期3Q	69,774,401 株	26年3月期	69,774,401 株
27年3月期3Q	1,440,575 株	26年3月期	1,439,045 株
27年3月期3Q	68,334,130 株	26年3月期3Q	68,336,043 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の成長戦略が一部の企業収益の改善をもたらすなど、回復基調にあったものの、個人消費を支える十分な賃金増加にまで及ばず景気は足踏み状態が続いており、平成27年10月に予定されていた消費税の再増税は先送りとなるなど、依然として予断を許さない状況が続きました。

食品業界におきましては、円安の進行や新興国の需要増による原材料や包装資材のコスト高騰等から値上げに踏み切る企業が目立つ一方で、消費者の節約志向は根強く、企業間競争は一層激化し、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、家庭用商品につきましては、青果売場専用の商品として野菜の新しい食べ方を提案する「野菜が恋するソース」シリーズ3品を昨年3月に発売したの続き、カットフルーツがコンビニエンスストアや量販店で売場を広げていることを背景に、今までにないフルーツ専用調味料「フルーツが恋するソース」を11月に発売しました。

また、豪州からの牛肉輸入関税の引き下げなどにより、牛肉需要が増加傾向にあることを背景に、輸入牛肉も和牛も美味しく食べられる「ステーキソース」シリーズ3品を11月に発売しました。

販売促進活動としては、家庭で専門店の味が手軽に楽しめる「本格お好みソース」「本格焼そばソース」「本格たこ焼ソース」などの専用ソースにつきまして、学園祭応援企画や、店頭プロモーションを継続実施した結果、売上が順調に推移しました。

業務用商品につきましては、11月に、ブルドック業務用1Lシリーズに「山椒香るだしソース」を追加発売しラインナップの充実化と惣菜、中食ユーザーへの提案活動が奏功し、売上は順調に推移しました。また、業務用ユーザー向けプライベートブランド商品は、新規ユーザーの獲得、既存外食ユーザーの店舗増加と新メニュー採用、コンビニエンスストア向けソース使用メニューの増加により、売上が順調に伸長しました。

また、一昨年制定された「ソースの日（11月7日）」にあわせて、館林工場及び鳩ヶ谷工場では、地域の皆様との交流を目的としたイベント「ふれあい会」を実施し、料理教室や工場見学、各種アトラクションを通じ、「ソース」の消費啓蒙活動を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は125億9百万円（前年同期比0.1%増）となりました。利益面につきましては、原材料価格の高騰等により営業利益は7億2百万円（前年同期比6.6%減）、経常利益は8億9千万円（前年同期比2.6%減）、四半期純利益につきましては、税金費用の減少により5億6千3百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億3千2百万円増加し、231億7千1百万円となりました。主なものは、流動資産では、受取手形及び売掛金が4億9千1百万円増加、固定資産において、投資有価証券が10億3百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ4億4千3百万円増加し、60億2千3百万円となりました。主なものは、流動負債では、支払手形及び買掛金が2億8千4百万円増加、固定負債においては、繰延税金負債が3億6百万円増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億8千9百万円増加し、171億4千8百万円となりました。主なものは、利益剰余金3億3千8百万円の増加及びその他有価証券評価差額金が6億5千5百万円増加したことなどによるものです。これにより自己資本比率は、74.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年1月23日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が23百万円減少し、利益剰余金が15百万円増加しております。なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,513	3,478
受取手形及び売掛金	4,260	4,751
商品及び製品	395	424
原材料及び貯蔵品	93	113
仕掛品	18	23
繰延税金資産	194	196
その他	52	75
流動資産合計	8,527	9,063
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,083	2,024
機械装置及び運搬具（純額）	1,060	964
土地	2,711	2,711
その他（純額）	95	89
有形固定資産合計	5,950	5,789
無形固定資産	37	23
投資その他の資産		
投資有価証券	6,658	7,662
その他	623	689
貸倒引当金	△58	△58
投資その他の資産合計	7,223	8,293
固定資産合計	13,211	14,107
資産合計	21,738	23,171

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,647	1,931
1年内返済予定の長期借入金	270	259
未払法人税等	244	180
未払費用	1,114	975
賞与引当金	184	93
その他	286	316
流動負債合計	3,746	3,757
固定負債		
長期借入金	200	340
繰延税金負債	574	881
退職給付に係る負債	857	850
長期未払金	166	166
その他	35	28
固定負債合計	1,833	2,266
負債合計	5,580	6,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	12,148	12,487
自己株式	△535	△535
株主資本合計	15,222	15,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	945	1,600
退職給付に係る調整累計額	△9	△13
その他の包括利益累計額合計	935	1,586
純資産合計	16,158	17,148
負債純資産合計	21,738	23,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	12,495	12,509
売上原価	6,012	6,104
売上総利益	6,482	6,404
販売費及び一般管理費	5,730	5,702
営業利益	752	702
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	113	125
投資有価証券売却益	51	65
その他	7	4
営業外収益合計	172	194
営業外費用		
支払利息	10	6
その他	0	0
営業外費用合計	10	7
経常利益	913	890
特別利益		
投資有価証券売却益	2	-
特別利益合計	2	-
特別損失		
固定資産除却損	13	9
たな卸資産廃棄損	23	-
特別損失合計	36	9
税金等調整前四半期純利益	879	881
法人税、住民税及び事業税	345	318
法人税等合計	345	318
少数株主損益調整前四半期純利益	533	563
少数株主利益	-	-
四半期純利益	533	563

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	533	563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	561	655
退職給付に係る調整額	-	△4
その他の包括利益合計	561	651
四半期包括利益	1,095	1,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,095	1,214
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ソース類の製造販売事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため記載を省略しております。